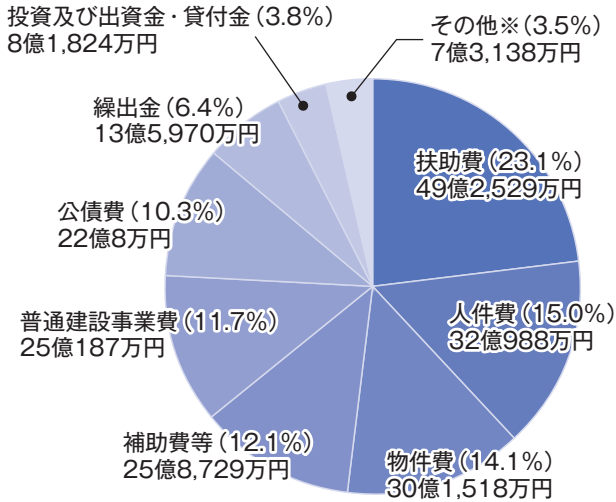


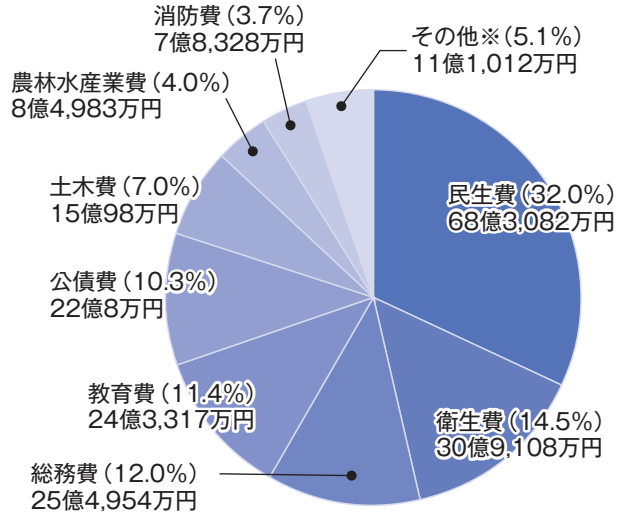
歳出額 213億4,889万円 (前年度比△32億1,638万円/△13.1%)

① 性質別の内訳



※積立金：5億6,611万円 (2.7%)、維持補修費：1億3,455万円 (0.6%)、災害復旧事業費：3,072万円 (0.1%)

② 目的別の内訳



※商工費：4億7,569万円 (2.2%)、労働費：4億5,625万円 (2.1%)、議会費：1億4,838万円 (0.7%)、災害復旧費：2,980万円 (0.1%)

歳出の部 ()書きは対前年度比

①は、歳出の性質に着目して分類したグラフです。経常的経費^{※1}は160億7,226万円〔構成比75.3%〕となりました。障害者福祉費の各種サービスの利用者の増や新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯や住民税非課税世帯への臨時特別給付金事業の実施などにより、扶助費が10億3,218万円(26.5%)の増となりました。

普通建設事業費^{※2}は、文化会館アエルの舞台照明装置などの設備更新、消防本部の救助工作車の更新整備、市内法人が行う茶工場等建設事業への補助などにより

7億1,931万円(40.4%)の増となりました。

②は、行政の目的に着目して分類したグラフです。認定こども園施設整備に対する補助、保育士の処遇改善やプラザけやきの南館解体などにより民生費が12億2,618万円(21.9%)の増となりました。また、新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施などにより、衛生費が4億3,697万円(16.5%)の増となりました。一方、特別定額給付金事業の終了などにより、総務費が50億4,389万円(66.4%)の減となりました。

※1 経常的経費：継続的、固定的に支出される経費。人件費、扶助費、公債費、物件費、維持補修費及び補助費等から成るもの

※2 普通建設事業費：道路、橋りょう、学校、公園など各種社会資本の新増設事業を行う際に要する経費

昨年度のお金の使い道 ~取り組み別歳出状況~



子どもがいきいき育つまち

- ・子育て世帯臨時特別給付金事業 8億1,429万円
- ・小学校校舎耐震補強・大規模改造事業 (小笠南小学校・小笠東小学校) 3億6,720万円
- ・認定こども園施設整備補助事業 2億2,900万円



健康で元気に暮らせるまち

- ・菊川病院運営事業(一般会計繰出金) 11億5,000万円
- ・新型コロナウイルスワクチン予防接種事業 4億1,124万円
- ・文化会館整備事業 1億2,518万円
- ・予防接種事業 4,102万円



活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち

- ・農業経営基盤強化推進事業 4億 333万円
- ・プレミアム付商品券発行事業 1億 966万円
- ・企業立地推進事業 9,800万円
- ・新型コロナウイルス感染症対策事業 7,578万円
- ・ため池耐震点検・工事業 2,410万円



快適な環境で安心して暮らせるまち

- ・下水道整備事業(一般会計繰出金) 3億3,194万円
- ・消防自動車等整備事業(救助工作車更新) 1億2,270万円
- ・駅北整備事業 7,930万円
- ・大須賀金谷線整備事業 6,978万円
- ・浄化槽設置事業 4,783万円
- ・コミュニティバス推進事業 4,002万円
- ・大規模地震対策等総合支援事業 3,300万円
- ・地球温暖化対策事業 465万円



まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち

- ・地域企画推進事業(1%地域づくり活動交付金) 1,053万円
- ・菊川市魅力発信事業 279万円
- ・出会い・結婚サポート事業 128万円
- ・移住・定住・交流推進事業 68万円

※金額は、1万円未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。